



乳幼児教育・保育推進事業 通信
～令和6年度 乳幼児教育・保育協働研修～



令和6年6月6日(木) 第2回研修会(発達・子育て)を開催しました。

26名の先生方と一緒に学び合いました。(小学校4名・幼稚園7名・認定こども園8名
保育所(園)5名・療育施設2名)

発達相談員からのメッセージ

- メッセージ① 「支援を求めている人に支援はできない」
メッセージ② 「保護者が子育てに自信と見通しを持てるようなかかわりを」
「問いかけの大切さ」「保護者の思いを聞くことから」
「保護者との信頼関係は子ども支援から育つ」
「短い期間の目標を設定するのではなく、長い見通しのもと、次につなげていくことを最優先にする」



発達相談員の話の中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を
教えてください。

- ① 伝える力より、聴く力…9名
② 支援を求めている人に支援はできない…4名
③ 子どもの成長の共有が次につながる…3名



発達相談員によるロールプレイ

(その他)

- 保護者の気持ちに寄り添うということは、まず相手を知ることが大事
- 子どもの世界を面白がれる先生
- 今年度中になど短い目標を決めず、長い見通しで各家庭のタイミングを待つことも大事
- 相談される先生になること！…これは心にとまる言葉でした。
- 療育とは…保護者がその子を育てる自信を養う場である。
- まず共感することが大切で、サポートされている感、支えてもらっている感を抱いてもらう！！

グループワークは、ロールプレイを見て気付いたこと等について話し合いました。



グループワークの中で、心に残ったことを1つ教えてください。(参加できなかった仲間
に知らせたいこと)を教えてください。

(保護者対応について)

- 保護者をほめること、保護者が子育てに自信を持てるように。
- 信頼関係を築くことや、保護者と話を進めていくことには時間がかかる。
- 具体的なエピソードを伝える、プラスの話を伝える。
- 担任一人ではなく、チームを組んで皆で支援をしていくことの大切さ
- 相談を保護者の方がしやすくするために保護者との信頼関係がまず前提として大切なこと。そして今すぐではなく長い見通しをもって時間をかけて構築できればと思った。
- 先生が困っているのではなく、”その子”が困っているその具体的な姿を(いい所も含めて)、先を見通してお伝えすること
- 保護者との何気ない会話が積み重なり信頼関係の構築へとつながること
- まずは保護者の話をきくことが支援への1歩
- 伝えたい事は一度にたくさんではなく、少ししぼって伝える。
- あいまいな伝え方ではなく、ストレートに言うことも大切
- ネガティブなことからではなく、ポジティブなことから。
- 子どもの気になるところばかりを見るのではなく、良いところをたくさん見つけて伸ばしてあげる。
- 療育＝その子を育てていく自信を持ってもらう。(保護者に)



(子どもへの関わりについて)

- 子どものことをかわいがれる、おもしろがれる保育者であることの大切さ

(施設類型を越えて学んだからこそ知ったこと・気付いたこと)

- 保護者が信頼できる先生とは、話したくなる先生とは…という視点で意見交流ができた。
- いろいろな施設類型の方がいて貴重なお話が聞けました。小学校の先生は日々対面で保護者の方とお話が難しいので、電話などでコミュニケーションを心がけていると教えていただきました。
- それぞれの保護者対応についてみなさん色々な視点で見えおられた。
- 発達相談のシステムについてまずは丁寧に伝えることの大切さ、「こんなすてきなシステムがあるんだ！利用してみたい！」と思えるような関わりの大切さを改めて学びました。
- 保護者対応はどの園も学校でも大きな課題である
- 小学校、保育園、幼稚園の先生とワークをして皆それぞれの立場で寄り添い方を模索していることが分かった。



伝えるだけでなく、保護者や子どもの話や思いを聞く。

聞く姿勢を大切にしていきたい。

子どもの世界を面白がれるよう、教師がゆとりをもって保育する。

日々の保護者、チームのコミュニケーションを今後も大切にしていきたい。

就学相談の際に小学校での生活や集団で必要な力といったことを伝え、イメージ、見通しを持ってもらえるよう相談に応じたい。

日頃の保護者との関係づくり。子どもの様子の伝え方。

子の成長やおもしろいエピソードを見つける、きっかけをつくる。一緒に喜ぶ。ほめる。

保護者と一緒に子どもの育ちを確認し、次の一歩を踏み出せるようなサポートをしていきたい。

保護者ともっと普段から沢山話したり、コミュニケーションをとったりしたいです。

保育や授業で活かしたいこと



私自身もそうですし、保護者の方もコミュニケーションが苦手な方もいらっしゃると思いますのでまずは”聴く””相手を知る”ということを大切に心がけたいと思います。

長い見通しで次につなげる。早期発見の早期療育は良いけどその家庭によりタイミングは違う。

保護者との信頼関係をもっともっと深めていきたい。

送迎時などの常に行われているコミュニケーションを大切にしていきたい。

日々の保護者とのコミュニケーション、信頼関係…ポジティブな語り掛けを行うこと。

まずは保護者がどのような人なのかを知るコミュニケーションを大切にしたい。

保護者の気持ちに寄り添った保護者対応。

子どもに寄り添い、保護者に寄り添って一緒に成長していく姿を見ていく

子ども達一人ひとり誰の気持ちも無視せずに寄り添う。

子どもの良いところをたくさん見つける ポジティブ！リフレーミング！

「かわいがってくれているな」と伝わるような保護者とのコミュニケーションを取っていききたいです。

一緒にグループ協議をした仲間に一言メッセージ



【Aグループ】

- ステキなお話だらけで皆さんに感謝！です。
- いろんな話を聞いて勉強になりました。ありがとうございました。
- 色々な意見を聞かせて頂いてありがとうございました。
- 貴重なお話が聞いてきちんといろいろな意見を伝えて下さりとても楽しかったです。

【Bグループ】

- こういった機会があればいいですね。
- 施設が違うからこそその新たな気付きもあり嬉しかったです。
- 子どもさんや保護者の方とよりよいサポートができるよう頑張りましょう！！
- 施設類型が違うからこそその保護者と関係をつくることへの難しさについても感じる事ができました。ありがとうございました。
- 経験談を交えながら実際にしてきたことを共有できて参考になりました。

【Eグループ】

- 異なる立場（環境）からの意見交換ができてよかった。
- 色々なエピソードを話して頂きありがとうございました。
- 貴重な意見がたくさん聞いて良かったです。
- 同じような悩みをかかえていました。今後もポジティブに子ども、保護者と関わりを楽しみましょう。ありがとうございました。
- いろいろな園の話が聞いて勉強になりました。ありがとうございました。
- 貴重なお話ありがとうございました。

【Cグループ】

- それぞれの経験から学ばれたことなどを知れて今後にかاشしていきたいです。
- 明日からも笑顔で楽しく子どもたちと過ごしましょう。
- たくさんの貴重なお話ありがとうございました。
- 色々な話ができて良かったです。
- ありがとうございました。

【Dグループ】

- とてもすてきな先生方とグループでお話できて、経験や知識を共有していただきたくさん学び持ち帰ることができます。ありがとうございました。
- 楽しく学ぶことができました。またお話をさせていただきたいです。
- 笑顔でうなずき、話を聞いて下さってありがとうございました。それぞれの立場の視点があり共感できることも多かったですが、そんな大変なこともあるのだと勉強になりました。小学校へ送り出す側として見通しを持って保育をしようと思いました。
- またこれからも一緒にお話ができばうれしいです。ありがとうございました。
- 楽しい学びの時間になりました。ありがとうございました。

